

解答

一

- 問一 ● 滑りこむ ● 連打する
 問二 我(に)返(った)
 問三 下りのエレベーターに、ゴミ出し帰りの人が乗っているところと、エレベーターが満員電車のように混んでいるところ。
 問四 これくらいのことではひるんではいけない
 問五 天井のルーレットによってエレベーターの止まる階が決まるため、乗る人が待っている階や降りたい人がいる階に止まるとは限らないから。

- 問六 イ
 問七 1 苦しん(で) 2 つのっ(て) 3 つい(て) 4 すがっ(て) 5 まっとうし(て)
 問八 ● 便利なものに依存しきって忍耐力を失ってはならない。
 ● 時間にとらわれて、いつも時間のことばかり気にしてはならない。
 ● 文明の利器にたよってはかりてはならない。
 ● 妥協せず、最後までがんばって使命をとげなければならない。

- 問九 すこらく
 問十 (1) エレベーターでの試練を乗り越えたと思ったら、今度は道路で次の試練が始まることを知り、途方にくれたから。
 (2) 「これらの試練は人間への戒めであり、最後までがんばって乗り越えるのが使命だ」と考え、サイコロをふってすこらくに立ち向かっていく。

二

- 問一 a オ b ア c ウ
 問二 人間は人と人との「間柄的な存在」であり、社会生活を送るうえで意思疎通をはかるための公共的なコミュニケーションをとる必要がある存在だと考えている。

- 問三 ② とらないわけにはいかない
 ③ 生まれるはずがない
 問四 A ア B ウ
 問五 疑心暗鬼
 問六 あきらかに誤解が原因の、不信感を解消する役割。
 問七 公共の利益を無視し、自分の利益しか考えないこと。
 問八 イ

- 問九 (1) 自由民権運動や大正デモクラシー
 (2) (筆者は)互いに異な(る)く譲らない(の)がよい(と)言っている。
 問十 つまり、日
 問十一 (1) 為政者の考えが間違っていると思ったら進言し、正しいものに変えようとする態度。
 (2) 臣下の意見も聞き入れ、自分が正しいと思う意見は軽々しく譲らず、対等な立場で互いに異なる意見を尊重しあいながら、合意形成を目指す態度。

三

- 問一 (1) 完治 (2) 策略 (3) 大過 (4) 心服 (5) 北限 (6) 照合 (7) 安置 (8) 独白
 問二 (1) くめん (2) せめう (3) ちょうほう (4) こがい

解説

一

- 問十 (1) エレベーターでの一件を乗り越え、爽快感と達成感に満ちあふれていた「ぼく」ですが、道路がコマ

分割されサイコロが置いてある光景を見て、新たな試練が始まることに気づきます。驚き、途方にくれ、脱力した様子がうかがえます。

(2) エレベーターでの一件を、便利なものに依存しきって忍耐力を失い、時間を気にしてばかり、文明の利器に頼ってばかりいる人間への戒めだととらえ、妥協せず最後までがんばろうと強い決意をしていたことから、新たな試練にも立ち向かっていくと考えられます。

問九

(2) 最後の段落で、他者と意思疎通するための公共的なコミュニケーションでは「互いに異なる意見を尊重しあいながら、自分がどうしても正しいと思う意見は軽々しく譲らない」という態度が『和して同ぜず』なのです。」とあります。